

氷上中学校「こどもが描く学校図書館づくり支援事業」取組報告（第Ⅰ期）

Ⅰ. 事業の趣旨と本校における取組概要

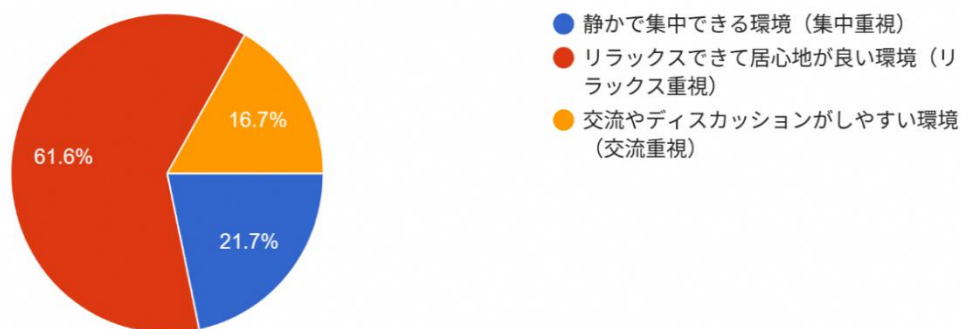
本事業では、生徒自らが「自分たちの理想とする学校図書館」を思い描き、その実現に向けたプロセスに主体的に関わることで、読書意欲の向上や学習・交流の場としての図書館の活性化を目指しています。

4月に全校生徒を対象とした詳細なアンケートを実施し、意見を抽出しました。その結果をもとにして、図書委員会を中心に図書作業ボランティアの方々のご協力もいただきながら、備品選定・環境整備を進めています。

2. 生徒のニーズを踏まえた図書館整備

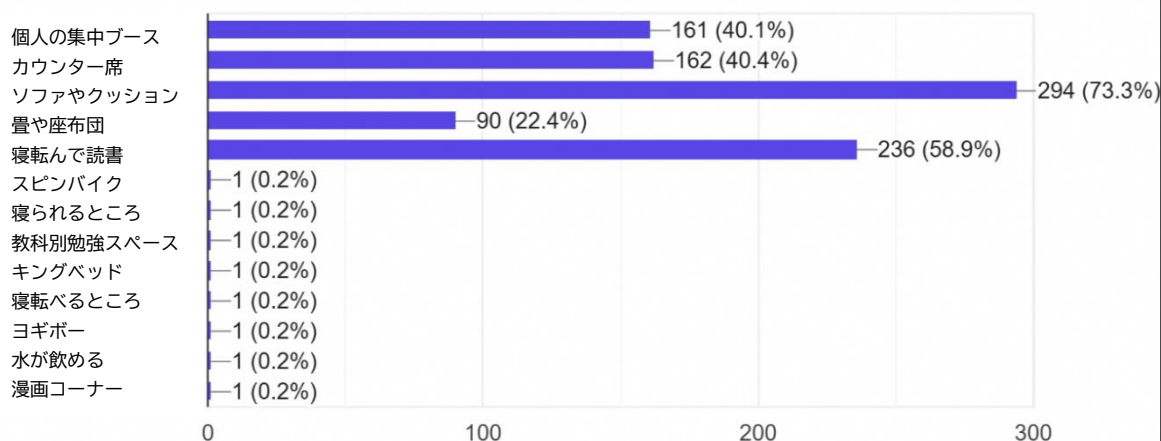
図書館の「雰囲気」について、最も重視したいことは何ですか？

401件の回答



図書館に設置してほしい「座席・学習スペース」のタイプを選んでください。（複数選択可）

401件の回答



アンケート結果から、生徒たちは図書館に対して、「読む・学ぶ場所」とどまらず、「リラックス・居心地の良さ・多目的利用」等に非常に高いニーズを持っていることが明らかになりました。この結果を踏まえ、生徒の声を反映した備品・環境整備をすすめています。

① 利用目的と雰囲気

- **重視する雰囲気：**「リラックスできて居心地が良い環境」が61.6%と最多
- **座席・空間の希望：**「ソファやクッション(73.3%)」「寝転んで読めるスペース(58.9%)」が突出
- **購入品への反映：**
 - 2人掛けゆったりソファ
 - 靴を脱いでくつろげるジョイントマット
 - 居心地と癒やしを高める観葉植物、空気清浄機

② 学習環境とゾーニング(使い分け)

- **要望：**「静かに集中したい」「カフェのようなカウンター席(40.4%)や個人ブース(40.1%)がほしい」
- **購入品への反映：**
 - 机上アクリル製間仕切り(集中して学習できる個別ブースの創出)
 - 木製書架、傾斜ブックラック

③ 雰囲気づくりと運用・広報

- **要望：**「BGMを流してほしい」「広報やおすすめ本の案内、入り口の案内を充実させたい」
- **購入品への反映：**
 - BGM再生用のCDデッキ(東芝SD/USB/CDラジオカセット)
 - イベントや案内用の木製サインスタンド&ブラックボード、ネットスタンド、パンフレットスタンド
 - 長年使用していたPCと蔵書管理ソフトを更新

3. 月別取組経過(4月～8月)

【4月】生徒アンケートの実施

- 全校生徒を対象に意識調査を実施しました。「リラックス」「集中学習」「空間のゾーニング」といった課題やニーズを確認しました。

【5月】プロジェクトチーム会議の実施

- アンケートの分析結果をもとに生徒代表や図書ボランティアを含めたプロジェクトチームによる会議を開催しました。「くつろぎエリア」と「集中学習エリア」の両立を目指したレイアウトおよび導入備品の構想を策定しました。



第1回プロジェクトチーム会議の様子

【6月】備品・システムの選定

- 生徒の要望を反映した家具(ソファ、マット、仕切り板)やBGM音響機器、観葉植物、蔵書管理ソフト等の選定を行いました。

【7月・8月】ボランティア連携と夏期休業中の環境整備

- **空間の整備：**新しい備品の設置に向けて、図書室の蔵書や備品の整理を行っています。